

## ICT街づくり

沖縄県久米島町の過疎化・高齢化問題の一環として、日本電気(株)では高齢者がいきいきと過ごせる街づくりのためのシステム構築に取り組んだ。全島にWi-Fi公衆網を整備し、クラウドを活用した地産地消サービスをはじめ、久米島の観光資源を活かして観光客を誘致するアプリケーションも整備し、地域の活性化と雇用の促進を図った。

### 背景

久米島町は過疎地域に指定されており、人口減少と少子高齢化が進んでいる。基幹産業は農業と観光産業であるが、農業従事者の半数を高齢者が占め生産高はピーク時の半分に落ち込み、観光客も減少傾向。雇用を求める若者は島外へ流出し島内経済の再生と人口増が喫緊の課題となっている。この状況を打開すべく高齢者がいきいきと過ごせる環境構築、コミュニティの活性化、健康を維持する仕組み、既存の観光資源を活かし観光客を誘致するアプリケーションを整備して地域の活性化、雇用の促進を図ることが求められた。

### 概要

全島にWi-Fiを整備し、クラウドを活用した収穫情報に基づいて地産地消を推進。遠隔見守りサービス・AR観光情報の配信・メール一斉配信による安否確認なども実現した。



■高齢者が生産する少量の農産物を、地元のホテルや飲食店が仕入れて消費することで、高齢者の生きがいと地域経済の循環を提供。



■AR(拡張現実)を活用した観光アプリケーションで、地元の観光スポットを案内。ゲーム感覚で楽しみ、驚きと新しい発見を提供。



■有事の際には安否確認に、平時の際には住民への情報配信に活用。地域の住民が安全・安心に暮らせる情報を提供。



■高齢者と家族・見守る人がいつでもつながれるコミュニケーションを活性化。見守られている安心感と手厚いサービスを提供。

### アピールポイント

観光ARによって島への観光客が増加し、地産地消のシステムによって高齢者の生きがいを醸成することができた。また、防災メールは学校のPTA活動や地元住民の情報共有にも活用されている。



【観光AR】



【地産地消】